

静岡版校内研修プログラム

6-1 活用効果を高める ためのポイント

ICTの導入 ≠ デジタルへの移行

アナログ

▪ 教科書

▪ ノート

▪ 黒板

デジタル

▪ デジタル教科書

▪ タブレット端末

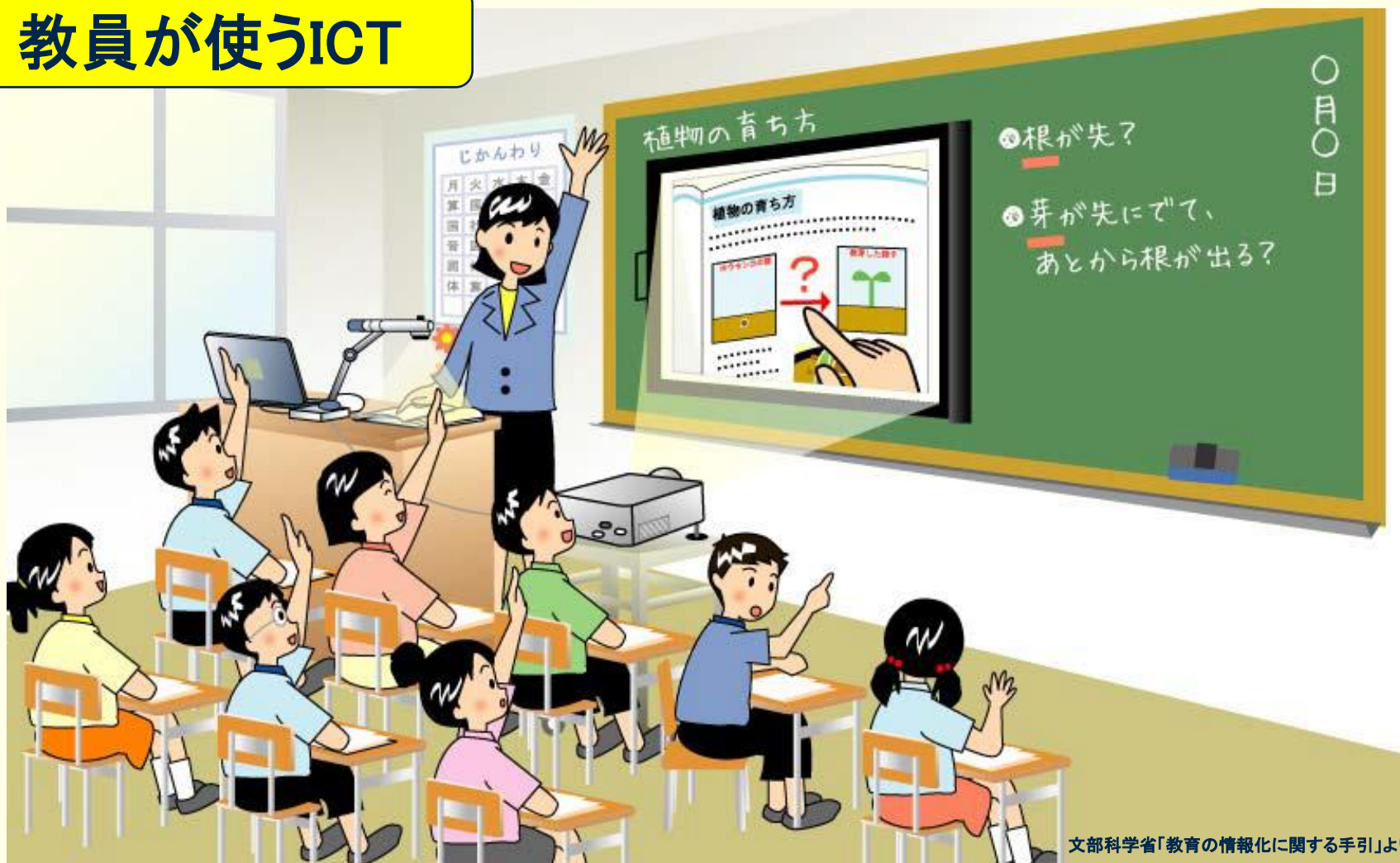
▪ 電子黒板など
(プロジェクター)

全てが「デジタル」に
なってしまうわけではない

- ◆それぞれのメリットを生かした授業
- ◆「移行」ではなく「融合」

授業イメージ ①

教員が使うICT



教科書の図などを大きく映しながら説明

授業イメージ ②

教員が使うICT



文部科学省「教育の情報化に関する手引」より

ネイティブ・スピーカーの音声をICTで聴かせながら教科書を大きく映して説明

ICT活用のポイント！その1「大きく映す」

「大きく映す」ときの
3点セット

情報提示

焦点化

発話



「情報提示」と共に、発問・指示・説明といった適切な「発話」、さらに指さしや書き込みなどの「焦点化」を行うことが大切です！

ICT活用のポイント！その2「板書との連携」

画面を切り替えながら
資料等を提示します。

動

静

本時の目標、道筋などを
残しておきます。

「動(デジタル)」と「静(アナログ)」の使い分けがポイントです！

文部科学省「教育の情報化に関する手引」より

従来の授業スタイルにICTを融合

従来の
授業スタイル

授業スタイルを
全く新しくするわけ
ではない

教科の学習目標を達成するために
教員や児童生徒が「ICT」を活用する

ICTを活用した
授業

プラスα

ICT活用の効果を高めるために

○児童生徒の実態把握

○授業における活用のタイミング

○従来の方法とICT活用の融合

いつも ちょっと つかう

I C T